

◇ 奥 山 諒 蔵 氏 ◇

〔 協会の端境期を振り返って 〕



奥 山 諒 蔵 氏

奥山ボーリング倶代表取締役会長
全国地質調査業協会連合会理事

昭和34年の東北地質調査業協会設立の頃が懐かしいと語る奥山会長。全地連副会長、最初の積算資料編集委員長などを努められたが、会員が喜んでもらえる結果を得るには並大抵ではなかったという。

それだけに地質調査技士検定試験の実施、中小企業近代化促進法の指定業種決定、地質調査業登録規定の告示は嬉しかったとのこと。

現在横手商工会議所会頭、東北経済連合会常任理事のほか多くの役職を兼任し、各方面で活躍されており、昨年春叙勲で勲五等双光旭日章を受賞されました。

東北地方は21世紀の日本の一翼を担う極

めて重要な地域であり、今後一段と深刻化する高齢化社会に備え、経済の自立と地域内全体の発展をはかるためには最も基本的な交通網、国土保全施設、住宅、都市基盤の整備が重要かつ急務なことで、公共事業の積極的な拡大が不可欠と経済団体の役員として関係機関に働きかけに出る日が多くなったそうです。

非常に健康そうなので、健康法は何かとの問いには、ご自分で考案の「体操を毎日欠かさないこと」と羽後カントリー倶楽部のオーナーであることもあってか「ゴルフ」と答えられました。ハンディ18。若い人に負けない顔の艶が印象的でした。

Profile

- ・大正6年生 62才
- ・昭和11年 県立秋田工業学校卒
- ・昭和11年 日立製作所に就職
- ・昭和21年 奥山ボーリング工業所創業
- ・昭和63年 奥山ボーリング倶会長
- ・秋田椿台GC取締役、羽後CC社長等を兼務
- ・趣味はゴルフ
- ・家族は横手市神明町の自宅に夫人と2人暮らし。

(インタビュー 広報委員会)